

令和4年度第1回大分市障害者自立支援協議会 概要

項目	内容
開催日時	書面開催
出席者	江藤 郁 委員、滝口 真 委員、黒島 加奈 委員、三原 彰夫 委員、八塚 良久 委員、都築 克宣 委員、甲斐 和則 委員、工藤 福成 委員、釘宮 慶太 委員、鶴原 久実 委員、齋藤 國芳 委員、阿南 静生 委員、秋吉 一恵 委員、田原 貴臣 委員、加藤 順子 委員、山下 順子 委員、酒井 弘元 委員、花宮 良治 委員、米澤 幸宏 委員、早野 真弓 委員、後藤 秀信 委員、豊田 昭知 委員、吉田 友哉 委員、金澤 康隆 委員、芦刈 弘城 委員、矢野 太亮 委員、高橋 恵美 委員、小池 桂子 委員、藤田 恵子 委員、齊藤 修造 委員
次第	議事 1. 第6期大分市障害福祉計画・第2期大分市障害児福祉計画の進捗状況について 2. 各専門部会の令和4年度活動計画について 3. 大分市障がい者相談支援センター(さざんか、コーラス、きぼう21)の年間報告・事業計画について
その他	出席者からの意見・質問に対する回答は別紙のとおり

【概要】

<議事1> 令和3年度の実績を踏まえ、各目標に対する評価について報告した。

<議事2> 各専門部会における今年度の活動計画を報告した。

<議事3> 各センターの令和3年度実績報告及び令和4年度活動計画を報告した。

令和4年度 第1回 大分市障害者障害者自立支援協議会における主な質問、意見に対する回答

NO	議事	ページ	内容	回答
1	1	1	「入所施設から地域生活への移行」 施設入所者数の削減については、共同生活援助(グループホーム)の整備だけでは、目標を達成することは難しいのではないかと。	今後も国の社会福祉施設等整備事業補助金を活用し、施設・事業所の建設経費に対する補助を行うことで、共同生活援助(グループホーム)などの「住まいの場」や、生活介護、就労継続支援や就労移行支援などの「日中活動の場」の確保に努めます。
2	1	2	「福祉施設から一般就労への移行」 他市の状況も見ないと分からないが、福祉施設から一般就労移行者数(R5末103人)は目標達成が難しいのではないかと。	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は低い水準となっていますが、令和3年度はコロナ禍前の水準に戻ってきており、今後も関係機関と連携しながら、目標達成に向けて取り組んでいきます。
3	1	2,4	「地域生活支援拠点等が有する機能の充実」、「人材育成のための支援件数」、「指導監査の実施」など「年間1回」のみで良いのか、実態に即して次期計画での検討が必要ではないかと。	「地域生活支援拠点等が有する機能の充実」及び「人材育成のための支援件数」については、本会での検証に加え、「生活支援部会」における「あんしんコール」の検証や、令和4年度以降は相談支援部会の定期的な開催により、「年1回」以上行うこととしています。 また、「指導監査の実施」については、新規事業所等に対する「集団指導」を年1回行うほか、事業所を訪問して関係資料の確認や聴き取りを行う「実地指導」を行っており、概ね3年ごとに全事業所で実施しています。(令和3年度は168事業所)
4	1	3	「障がい児支援の提供体制の整備」 医療的ケア児等に関するコーディネーターとして配置された相談支援専門員等が、異動や退職することもあるため、さらに増やす必要があるのではないかと。	令和元年度から県が「医療的ケア児等コーディネーター養成研修」を実施してきましたが、令和4年度以降は実施されないことから、県に対して養成研修を継続するよう要望してまいります。
5	1	3	「障がい児支援の提供体制の整備」 障がいのない子を持つ親と同様に、「家で送り出し、放課後帰るのを待つができる」と思う。 校外学習や通常と違う活動の際、親の支援が必要ないような支援体制ができればよいと思う。	医療的ケア児支援法の施行に伴い、福祉分野だけでなく、教育部門等においても、さまざまな支援の検討が行われていることから、今後も「医療的ケア児支援検討部会」において、関係機関と情報共有しながら、医療的ケア児等の支援体制の整備に努めます。

令和4年度 第1回 大分市障害者障害者自立支援協議会における主な質問、意見に対する回答

6	1	4	<p>「相談支援体制の充実・強化」 相談支援部会ができたことは大きな一歩である。定期的な会議の開催に加え、「基幹型相談支援センター」を設置することで、相談員が困ったときに相談できると良いのでは？</p>	<p>本市では、身体・知的・精神それぞれの障がい特性に応じて、常駐する3つの相談支援事業所が、年中無休で相談を受け付ける「障がい者相談支援センター」のほか、「障がい者虐待防止センター」や「成年後見センター」を設置することで、相談支援体制の充実を図っており、現時点においては「基幹型相談支援センター」の設置は検討していません。</p> <p>今後は、相談支援専門員の連携を目的とした「地区別(中央、東部、西部)相談支援部会」を定期的実施するなど、部会の活動を充実させることで、相談支援専門員が相談できる体制づくりに努めます。</p>
7	1	4	<p>「障害福祉サービス等の質を向上させるための取組」 コロナ禍で実施が難しいこともあるが、受けられる研修は積極的に受けていただきたい。</p>	<p>研修の形態も「対面開催」だけでなく、「オンライン開催」等も行われていることから、積極的に参加するよう努めます。</p>
8	2	8	<p>「社会資源ガイドブックについて」 全事業所を掲載できていない実態がある。事業所に掲載することを強制できないが、地道に活動を続けていただきたい。</p>	<p>先般、社会資源ガイドブックを掲載しているホームページを更新し、地区ごとに事業所を探すことができるよう改善したところです。</p> <p>今後も就労支援部会等において、改めて事業所に対して周知することで、より多くの事業所の情報を掲載できるよう努めます。</p>
9	2	10	<p>グループホームの従事者等に対する研修を充実させてほしい。</p>	<p>令和4年度から障がい者の虐待防止や、身体拘束等の適正化を推進することを目的として、市が定める運営基準においてグループホームを含めた施設・事業所が取り組むべき事項として、従事者に対する研修を実施することを義務化したところです。</p> <p>今後も国や県が実施する研修に関する情報提供を行うとともに、「実地指導」において、各施設・事業所の実施状況を把握してまいります。</p>

令和4年度 第1回 大分市障害者障害者自立支援協議会における主な質問、意見に対する回答

10	その他	<p>「障害児保育について」 加配保育士等を配置している保育園等であれば、障がい児保育に関する研修等へ参加して、施設全体の保育の質・量を高めていただきたい。</p>	<p>本市では、「大分市保育所等職員研修」において、「障がい児保育」及び「特別支援教育・保育」に関する研修として、「子どもの発達と保育者の援助」や「子どもの発達と保護者支援」等の内容について研修を行い、保育士等の特別支援教育・保育に関する理解が深まるよう努めています。</p> <p>また、作業療法士・社会福祉士・精神保健福祉士等の専門職が、保育所、幼稚園、認定こども園等を巡回し、施設の職員や保護者に対し、園児の発達障がいの早期発見・早期対応のための助言等の支援を行う「大分市発達障がい児専門員派遣事業」や、市内の幼児教育・保育施設を経験豊富な保育士等職員が巡回し、保育内容や保健衛生・安全管理等に対する助言・指導を通して、適切な園運営へつなげ教育・保育の質の向上を図る「保育所等巡回支援事業」の実施を通して、各施設における保育の質の向上にも努めています。</p> <p>本市としては、各施設における障がいのある子どもや、保護者に対する支援についての理解が深まるよう、引き続き、保育の質の向上に向けた各種施策に取り組んでまいります。</p>
11	その他	<p>障がい者の虐待が社会問題になっているが、障がい者施設等の立ち入り検査等が実施されているのか教えて欲しい。</p>	<p>本市では、「障がい者虐待防止センター」を設置し、障がい者や家族等からの相談に応じています。</p> <p>令和3年度は「59件」の相談が寄せられ、そのうち「18件」については、「施設従事者による虐待に関する相談」であったことから、聞き取り等による事実確認を行っています。</p> <p>また、虐待防止に関する普及啓発の取組として、「障がい者虐待防止センター」の職員が施設訪問を行うほか、施設従事者に対する研修会等を行っています。</p>